

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道穂別高等学校学校長 印

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

一人一人を大切に、愛情と創意に満ちた教育活動で、社会人としての基礎基本を身につけさせる
(1) 学ぶ喜びを体感させ、自信と意欲を育み、基礎学力の定着と向上を図る
(2) 社会に通用する価値観を醸成し、正しい判断力と基本的生活習慣の定着を図る
(3) 自他の生命や人格を尊重し、互いに思いやり、健全に生きる態度の育成を図る
(4) 発達段階に応じたきめ細かな指導で、自己実現を目指す態度の育成を図る
(5) 教育相談等を通じた生徒理解に努め、個々の生徒に応じた的確な指導と支援を図る

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	- 現在の学校課題を教職員それぞれが意識して、職務にあたることができた。 - 閉校に向けた準備委員会を発足させ、地域や各種団体との連携を深めることができた。	- 生徒指導については、今後も継続して粘り強い指導をお願いしたい。 - 閉校に向けての地域への情報発信を強めて欲しい。地域行事への参加は大変よかった。
改善方策	- 本校の重点目標や学校経営方針を各職員で更に理解を深める。。 - 優先順位を考え、業務の精選及び孤立化を図ることが必要である。 - 働き方改革をより進展させ、より良い職場環境を構築する。	
学習指導	- 生徒に身に付けさせた能力の評価についての適切な在り方を考察していく必要がある。 - 生徒それぞれにとっての個別最適な学びの在り方について難しい面があった。 - Chromebook（タブレット）を全授業で効果的に活用 - 総合的な探究の時間では、3年間で穂別地区を考える学習を推進。10月には発表会を実施できた。	- 総合的な探究の時間の発表内容が、年々向上している。テーマについて、より広い視野が持てるような設定にすることで、深い学びになると思う。 - ICTの活用を今後も推進していてもらいたい。
改善方策	- 評価のあり方について、研修などを通じて更に深化させ、今後の学習に繋がるようなものとしていきたい。 - ICT機器の活用をさらに進め、自ら学習の内容を選択できる学習体制を作る 「総合的な探究の時間」や教科横断的な学習を進め、地域学習や社会課題に向き合う活動をさらに推進する。	
進路指導	- 少人数である利点を生かし、個別に实际的な就職指導を実施しミスマッチを防ぐ指導を実施できた。また、5月に、進学相談会にを参加。進路意識高揚につながった。 - 進学相談員やハローワークの特別支援対策支援員との連携し、密に活動することができた。	- 進路指導については、少人数であることを利点とし十分に結果を出している。 - インターンシップの取り組みが進路の意識高揚につながっている。
改善方策	- 系統的な進路指導を心掛け、生徒が早期から進路意識を持てるように促す。 - 生徒の実情に応じた進路教材などを有効活用し、個々に応じた適切なキャリア教育につなげていく。 - また、進路活動も生徒の希望進路に適応させていく。 - ハローワークや教育局などの連携を継続し、多角的なキャリア教育を意識していきたい。	
公表方法	ホームページ上で公表、PTA総会での公表および保護者への配付	

3 添付資料

- (1) 学校関係者評価
 - (2) 教職員自己評価
 - (3) 保護者アンケート
- ※評価は4段階評価としている